

フタバガキ属の樹木 ①

Dipterocarpus spp.

フタバガキ属 (アピトン属) の名称、分布と区分

フタバガキ属(アピトン属)*Dipterocarpus* (ディプトロカルプス)はフタバガキ科 *Dipterocarpaceae* (ディプトロカルパケエー)の大きな属である。東南アジア地域で同科のラワン類、すなわちおもにサラノキ属(レッドラワン属) *Shorea* (ショレア)に次いで最も主要な森林構成樹種であり、各国で木材資源としてもきわめて重要である。わが国に輸入される南洋材でもラワン類に次いで多く、アピトン (apitong) またはクルイン (keruing) としてよく知られている。インド東部・南部、セイロン、バングラディッシュ、ビルマ、タイ、インドシナ、マレー、スマトラ、ジャバ、バリ島、ボルネオ、フィリピンの範囲にわたって75種ほどが分布している。全体に樹木としての形態が比較的類似しており、また材の性質や用途も同様なものが多いので、実用上は各種をいっしょにした名称を使っていることが多い。主な種類の個別的名称は別に記すが、ここでは一般的な名称を次にあげる。インド、バングラディッシュ、ビルマで *gurjun*、ビルマで *kanyin*、タイで *yang*、カンボジアで *chhoeuteal* (チュテール)、ベトナム南部で *dau*、*yaou*、ベトナム北部で *tro*、マレーシア、インドネシアで *keruing*、フィリピンで *apitong*、*bagac* という。ただし材が重硬な少数の種類は *gurjun*、*yang*、*keruing* とは区別して違った名称で呼ばれることが多い。T. DYERが果実を包む萼筒部の形態でこの属を5節にわけているが、これはある程度便宜的なものと考えられている。(1) Sect. *Sphaerales* (スフェラーレス): 面は平滑。(2) Sect. *Tuberculati* (トゥベルクラティ): 上方に5個の隆起がある。(3) Sect. *Angulati* (アングラティ): 5稜がある。(4) Sect. *Alati* (アラティ): 縦に直行する5個の翼がある。(5) Sect. *Pliati* (プリアティ): 5個の翼が折り重なり複雑なしわになって面をおおう。
(平井信二)